作成　2026/ 7/4

2026年度

環境保全計画書

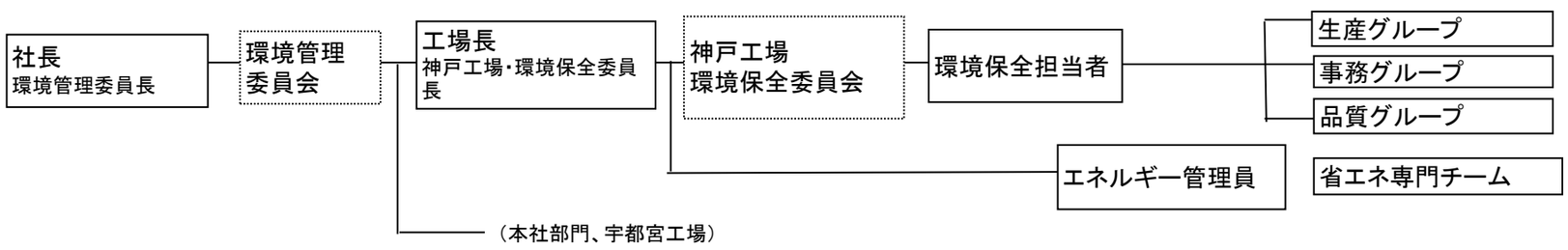
マ･マーマカロニ株式会社･神戸工場

● 環境保全に関する基本方針(基本理念)

日清製粉グループ･ISO14001環境基本方針
[理念]
地球環境保全は、人類の生存と発展のための社会全体の課題であり、その社会の一員として事業を営む企業にとって、最重要の経営課題です。日清製粉グループは、「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、当社が地球社会の一員であることの認識を深く持ち、地球的規模での環境保全を図りながら自由で活力ある企業活動を目指します。
[行動指針]
①原材料調達･製造･流通･消費･廃棄に至るすべての段階で環境負荷低減に向け、ライフサイクルを考慮した製品、生産技術･設備技術の開発･設計に取り組みます。
②環境関連法規制及び企業行動規範を遵守すると共に、行政当局、国際機関等における環境政策に協力します。
③気候変動への対応、脱炭素社会の構築、生物多様性の保全、水資源の有効利用は、持続可能な社会を実現するための人類共通の課題と認識し、すべての事業活動において考慮します。
④すべての事業活動において、省資源･省エネルギー･廃棄物の削減･再利用･リサイクル、再生可能資源の活用を通じた資源の効率的な利用･循環による環境負荷の低減に努めます。また、適切な化学物質の管理を含めた大気･水質･土壌汚染の予防に取り組みます。
⑤職場環境を向上すると共に、従業員に対し、環境保全に関する情報提供と教育を実施し、環境を常に意識する企業文化の醸成に取り組みます。
⑥環境に関する情報をステークホルダーに向けて発信し、事業活動において環境保全上の問題が生じた場合は、十分な情報公開を行うと共に、環境負荷を最小化するよう適切な措置を講じます。
⑦すべての活動拠点において地域社会の一員と認められるよう、地域とのコミュニケーションを通じて、環境課題、ニーズ及び期待を理解し、人々の健康で豊かな生活づくりに貢献します。
⑧環境基本方針実現のため、環境保全活動の定期的な評価、見直しを行い、ステークホルダーと共に継続的改善を推進します。また、適切な実行確認のために環境監査を実施します。

]

● 環境保全に関する組織



● 事業活動の環境への負荷

直近の実績/2025年度実績

エネルギー使用	電力	7,729 千kwh	資源ロスなど	廃棄物排出量	1,409 t
	購入蒸気	13,774 t		有価資源排出量	179 t
	軽油	0 KL		食品リサイクル率	100%
	LPG	0 m^3	(換算係数)		
	総エネルギー使用量	2,661 KL(原油換算)	省エネ法定期報告に基づく		
CO_2排出	エネルギー起源排出量	※ 0 t-CO_2	電力 →0.36 ﾄﾝCO_2/千KWH		
	その他起源排出量	423t-CO_2	購入蒸気→ 0.0135ﾄﾝCO2/ﾄﾝGJ（甲南ユーテイリテイ報告値は 0.036ﾄﾝCO2/ﾄﾝ蒸気）		
	総排出量	423t-CO_2	LPG → 6.30ﾄﾝCO_2/ﾄﾝLPG		

※年間CO_2排出量はカーボンニュートラル達成の為、排出ゼロ

カーボンニュートラル　2025年実績

電気

①	年間使用量(kwh)	7,729,250
②	内、CO2ゼロ電力量(関電･環境価値電力量)②※食物性残渣から発生させたメタンで発電した	353,916
	非化石証書購入によるオフセット対象電力量①－②	7,375,334
③	非化石証書購入量(e-dash)＝(①－②)	7,375,334
	非化石証書購入後の実質CO2発生電力量	0
	①－②－③＝0	

蒸気

①	年間使用量(t)	13,774
②	蒸気CO2排出係数	0.0511170
	Jクレジット購入によるオフセット対象蒸気量①×②	704.1
③	JクレジットCO2購入量(三井物産)	730
	Jクレジット購入後の実質CO2発生蒸気量	※0(-25.9)

①×②-③＝0
※四半期毎の排出係数で購入した数量が、通期の排出係数で試算した数量を上回っているので、非化石を達成している。

● 事業活動による環境への負荷量の管理目標

2025年度目標･計画

改善活動対象		目標	目標の期待効果
生産活動	製造数量	需給計画に対応した安定生産	廃棄ロスの削減
生産活動で使用するエネルギーと資源	エネルギーロス 使用資源のロス	電力･蒸気原単位の低減 廃棄物原単位の低減	環境負荷の把握と安定稼働と高効率生産による環境負荷の低減

活動内容 (2025年度活動の継続)
〇エネルギー起源CO2排出目標の達成とCO2排出原単位とエネルギー原単位の低減
〇廃棄物の削減による廃棄物原単位の低減
〇法令順守及びグループ方針･通達等への確実な対応

● 事業活動において、当該年度に取り組んでいく活動

2025年度環境保全活動･計画

維持活動対象		期待効果	活動計画
◆カーボンニュートラルの推進		温室効果ガスの抑制	バイオ発電や非化石証書によるオフセットによるカーボンニュートラル化を維持する
◆プラスチックに係る資源循環等の推進		法令対応	プラ包材の使用量を削減や代替包材の導入(紙やその他原料包材)
環境保全活動	緑地の維持	CO_2の消費	専門造園業者による構内緑地の維持、工場立地法に関わる緑地の維持
	周辺地域の美化	地域環境整備	日常周辺清掃の実施
	給･排水	適正な取り扱い	月次で状況の追跡管理
	環境緊急事故対策	迅速な対応	防災･環境保全を目的とした関連訓練の実施
	古紙活用、紙使用節減	省資源	月次で状況の追跡管理
	教育活動	関係者の意識向上	従業員を対象とした関連実績の広報･啓発活動、関連する業者への啓蒙
	廃棄物管理	適正な処理	電子マニフェストによるマニフェスト管理、処分場視察、分別と置き場の整備
地球温暖化対策	一般電力の節減	省エネルギー	空調温度管理、照明点灯管理(LED照明への更新)
	フロン使用機器の管理	適正な取り扱い	使用機器の定期的な管理、廃棄の際の管理

環境関連の法令に関わる届出･報告事項

関連法令	届出先	内容	期限
エネルギーの使用の合理化に関する法律	関東経済産業局	定期報告書(全社実績を本社より報告)	2026年7月末
地球温暖化対策の推進に関する法律	関東農政局		
令和7年度環境保全報告書･令和8年度環境保全計画書	神戸市環境局脱炭素推進課	定期報告書	2026年6月末
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	神戸市環境局事業系廃棄物対策課	多量排出事業者による産業廃棄物処理計画	2026年6月提出